

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：愛媛県 宇和島市

◆コンセプト：地域との連携による「共助のまちづくり」

少子高齢化及び核家族化により地域のつながりが希薄化する中、子どもや高齢者や障がい者など、様々な主体が交流できる場の拡大により地域の連携力を高め、普段の暮らしにおける支え合いや、災害時における自主防災機能など「共助」の機能強化を図ります。また、地域やその文化を支えるため、活躍の場を求める世代を問わない移住者のマッチングを促進します。

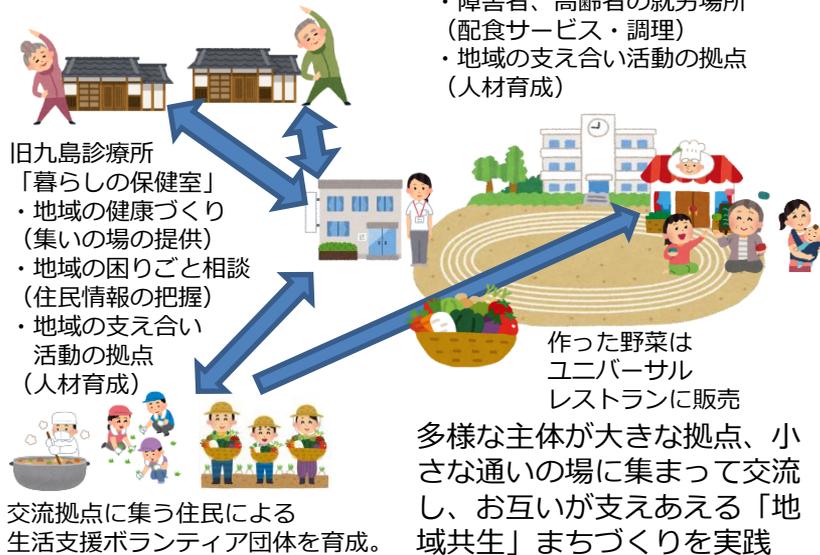
<特徴>

旧幼稚園や小学校をリノベーションした交流拠点を核として、拠点に集まる住民や既存施設の連携を強化することで新たな施設整備を行わない「生涯活躍のまち」

交流拠点を核とした地域共生のまちづくり

うわじまガイヤ健康体操
(各集会所)
身近な場所での健康づくり
男女問わない通いの場所の提供

旧九島小学校
「ユニバーサルレストラン」
・多世代が集える場所
(子どもと高齢者の交流機能)
・障害者、高齢者の就労場所
(配食サービス・調理)
・地域の支え合い活動の拠点
(人材育成)



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 人口減少により増えつつある廃園・廃校・空き家を再利用した、住民による運営する交流拠点への再整備

【今後の展開】

- 住民運営型の多世代交流事業(交流食堂等)による社会的孤立者の居場所づくり



「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 交流拠点に集まる住民による地域支援(災害時の住民による被災者支援・見守り配食事業等)

【今後の展開】

- 住民運営型の多世代交流事業・研修会を通じた地域の人材育成



「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- ご当地体操「うわじまガイヤ健康体操」を拠点を核として拡大。元気高齢者を育成。

【今後の展開】

- 体操を実践しながら健康状態を随時チェックし、健康長寿に係るエビデンスを確立。



「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 住まい支援を充実させるため、福祉関係機関に加え、不動産業界とともに研修会・意見交換を実施

【今後の展開】

- 研修会等の開催により、福祉関係機関と不動産業界との顔と顔が見える関係を構築

コミュニティへの人の流れ

- 民間企業に加え、JICA海外協力隊の受入れにより、地域課題の解決に向けた人的・物的資源の獲得を目指し、関係人口の増加を図る。

その他特徴的な取組

- 南予圏域の温かい人間性を生かした「おせっかいのまち」づくりと、住民の健康状態の改善により、移住者も地元住民も、支えられる側と支える側が入れ替わるまちを目指す。

基礎データ

- ・人口：67,898人(R6.3月末時点)
- ・H28.12 地域再生計画(生涯活躍のまち関係)の認定
- ・H29.03 生涯活躍のまち うわじま基本構想を策定
- ・H30.10 地域創生推進交付金を活用した「生涯活躍のまち・うわじま整備事業補助金」を創設
- ・R5年度までに実施主体が地域交流拠点(3カ所)を整備